

# 心に残る文化財子ども塾 出雲市立窪田小学校

## 1. 活動の概要

7月3日(水)、出雲市立窪田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに出雲市文化財課の方から、学校周辺にある遺跡の紹介と出土した土器などについて話を聞きました。自分たちの住む町に遺跡がたくさんあることを知った子どもたちはとても驚いた様子でした。また、遺跡から出土した本物の土器や石器に触れて、いにしえの人々の生活に思いを馳せていました。

次に、県埋蔵文化財調査センターの職員から、縄文人と弥生人の暮らしについての説明を受けました。出雲市を中心に県内で発見されたムラの跡や生活に使われた道具の話などを聞きました。すでに授業で学んでいた子どもたちも、それぞれの時代の詳しい説明に興味を持ち感心した様子でした。

その後、縄文人や弥生人の衣装を着る古代衣装体験を行いました。みんな好みの衣装を選んで張り切って着替え、記念撮影をしました。

## 2. 活動の様子

### 1) 学校周辺の遺跡について知る



「小学校の近くにも多くの古墳があります。」



「この石器は佐田町内で発見されたものです。」

### 2) 縄文人と弥生人の暮らしを知る



「縄文時代に大噴火したこの山は…」



「みんなで記念撮影！」

## 3. 子ども塾を終えて

### 1) 児童の皆さんから…

- 弥生時代の暮らしを体験してみたい。
- 実際に土器を探してみたい。
- ほかにもどんな遺跡があるか知りたい。
- 旧石器時代のことも調べてみたくなった。

- 貴重な体験だったのでこれからも覚えておきたい。
- 弥生時代のくらはしは結構住みやすそうだった。

## 2)担任の先生から…

- こちらの希望をしっかりきいてもらい、子どもたちもとても楽しく、また詳しく学ぶことができとてもよかった。
- 土器や衣装など、実際に触れることができるものは、子どもたちの心に残るものになった。

## 3)埋文センターから

学校の周辺や自分たちの家の近くに、多くの遺跡があることを知った児童のみなさんは驚きの声を上げていました。また、有力者の存在を示す古墳やお城があったことを知ってちょっとうれしかったという感想もあり、自分たちのふるさとに対する思いも変化したようでした。本物の土器や石器に触れたことをみんなたいへん喜んでくれたので、頑張ってたくさん持って行って良かったと思います。今回は時間の都合で体験活動の時間が短く、古代のくらしの詳しい説明が主になりましたが、こうした要望にも応えていく必要を感じました。